

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	港湾の堤外地における高潮防災対策の検討に必要な経費		担当部局	港湾局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H23/H23		担当課室	海岸・防災課		課長 梶原康之		
会計区分	一般会計		施策名	13 津波・高潮・侵食等による災害の防止・減災を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地球温暖化に伴う将来的な台風の大型化、海面上昇等の危険性が指摘されている中、大規模な高潮等による浸水被害から港湾の堤防の外(堤外地)における経済活動を守るため、港湾の堤外地における浸水被害の特性及び危険性を把握するとともに、防災体制の構築に必要な支援策、関係者の連携のあり方等について検証することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	港湾の堤外地における高潮等による浸水被害の特性及び危険性を把握するとともに、防災体制の構築に必要な支援策、関係者の連携のあり方等について検証するため、下記の検討を行う。 (1)港湾の堤外地における浸水被害の特性及び危険性の把握、(2)民間事業者が講ずる防災対策の把握、(3)委員会の設置・検討、(4)防災訓練の実施、(5)港湾の堤外地における浸水被害に備えたBCP案の検討							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0	0	0	13	0	
	執行額							
	執行率(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	-		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	防災訓練と業務継続計画の検討を対象としたものであり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない		活動実績(当初見込み)				() ()	
単位当たりコスト	12,999 (百万円/1検討)		算出根拠	未発注のため、空欄としている。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	総合的物流体系整備推進調査費	13	0					
	計	13	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	-	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	未発注のため、空欄としている
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	未発注のため、空欄としている
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	現時点では未発注であるが、発注準備に当たっては、コスト縮減等に留意して作業を進めているところ。		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業については平成23年度までの検討結果をもって、事業目的の達成が見込まれていることから、来年度以降の実施の必要性が認められないため、今年度限りで事業を廃止する。 なお、今後は本事業で得られた成果を活用した取り組みを進めるものとする。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			